シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA		
必修選択	必修	（学則表記）	ブライダル知識ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。		
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。		
評価基準	テスト：60%　小テスト（提出物）：30%　授業態度：10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級		
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渋川　優実	実務経験	○
実務内容	専門式場にてウェディングプランナーとして勤務、マネージャー業務や新人研修など経験。 のちにフリーランスのウェディングプランナーとして活動し、ブライダル業界に携わって9年目。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネータの役割	セールスと施行について理解する 担当制と分担制の違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時にどのような手続きが必要なのか知る

5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネート 会場コーディネート テーブルコーディネート	会場内のコーディネートについて理解を深める
7	衣裳① 衣裳、ヘアメイク、着付け①	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣裳② 衣裳、ヘアメイク、着付け②	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ
11	料理、飲物① テーブルセッティング①	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理、飲物② テーブルセッティング②	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期テスト	前期テスト実施
15	総まとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	（学則表記）	ブライダル知識ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。
評価基準	テスト：60％・提出物：30％・授業態度：10％
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する
2	筆記問題対策①	ペアを作り、今までの問題を解く（１００問ずつ）
3	筆記問題対策②	ペアを作り、今までの問題を解く（１００問ずつ）
4	筆記問題対策③	ペアを作り、今までの問題を解く（１００問ずつ）
5	筆記問題対策④	ペアを作り、今までの問題を解く（１００問ずつ）
6	実技対策①	対策問題、予想問題を使用し問題を解く

7	実技対策②	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
8	実技対策③	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
9	実技対策④	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
10	模擬テスト①	対策問題を解く
11	模擬テスト②	対策問題を解く
12	模擬テスト③	対策問題を解く
13	模擬テスト④	対策問題を解く
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡＡ		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザインⅡＡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	15
使用教材	Jump up		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける
到達目標	就職活動の流れを理解する 魅力的な履歴書の書き方を習得する 面接方法が実践できる
評価基準	授業態度３０％・提出物30％・面接４０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	キャリアデザインⅡＢ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	青葉　有実子 他1名
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	履歴書作成①	志望動機・自己ＰＲを作成し、履歴書を完成させる
4	履歴書作成②	志望動機・自己ＰＲを作成し、履歴書を完成させる
5	面接練習①	・グループ面接の重要性を理解し、グループ面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
6	面接練習②	・グループ面接の重要性を理解し、グループ面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
7	面接練習③	・ＷＥＢ面接の重要性を理解し、ＷＥＢ面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
8	面接練習④	・ＷＥＢ面接の重要性を理解し、ＷＥＢ面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ

9	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する
10	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、グループディスカッションを実践する
11	グループディスカッション③	グループディスカッションの役割を理解し、グループディスカッションを実践する
12	面接練習⑤	個人面接の重要性を理解し、個人面接を実践する。よく聞かれる質問に対して 受け答えが出来るように学ぶ
13	面接練習⑥	個人面接の重要性を理解し、個人面接を実践する。よく聞かれる質問に対して 受け答えが出来るように学ぶ
14	面接練習⑦	個人面接の重要性を理解し、個人面接を実践する。よく聞かれる質問に対して 受け答えが出来るように学ぶ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザインⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	15
使用教材	Jump up		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。
評価基準	授業態度４０％・提出物30％・テスト３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	キャリアデザインⅡA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	青葉　有実子 他1名
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
6	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ

7	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
8	人間関係構築力について②	
9	ＴｏＤｏリスト作成について①	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
10	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
11	年賀状の書き方について	内定を頂いている企業様へ年賀状を書く。年賀状の書き方を学ぶ
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	総まとめ

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	15
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す
評価基準	テスト５０％・プレゼン３０％・授業態度２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	室伏　奎甫
実務経験	○
実務内容	ゲストハウスにて４年間、コンシェルジュ・セールス・プロポーズプランナーとして勤務経験有。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	ブライダルジュエリー基礎③	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
5	ブライダルジュエリー基礎④	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ （コーディネートプレゼン①準備）
6	ブライダルジュエリー基礎⑤	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ （コーディネートプレゼン②グループ発表）
7	ブライダルジュエリーブランドを調べる①	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う（国内ブランド）

8	ブライダルジュエリーブランドを調べる②	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う（海外ブランド）
9	指輪のサイズ	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る
10	ラッピング技術	実践で使えるラッピング技術を学ぶ
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案①	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案②	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期試験	前期末テスト実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡA		
必修選択	必修	（学則表記）	ブライダルプロジェクトⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	挙式披露宴を施行するうえでの準備、当日の運営までを理解する
到達目標	・日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる。 ・現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る
評価基準	授業態度４０％・提出物４０％・振り返り２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	室伏　奎甫 他１名
実務経験	○
実務内容	ゲストハウスにて４年間、コンシェルジュ・セールス・プロポーズプランナーとして勤務経験有。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウェディングプロデュースについて	2年生後期に実施するウェディングプロデュースの概要を知る
2	役割の決定	役割の理解、アンケートを記入する
3	目標設定 当日までのスケジュール理解	ウェディングプロデュースにおける全体の目標を設定する 当日までの準備スケジュールを理解する
4	新郎新婦公募について①	新郎新婦の公募方法を考え実施する
5	新郎新婦公募について②	新郎新婦の公募方法を考え実施する
6	新郎新婦公募について③	新郎新婦の公募方法を考え実施する
7	予算使用について	全体予算とセクション予算、予算の使用方法について理解する

8	会場見学・会場研究	使用する会場の見学、導線や物品を確認する
9	各セクション制作①	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・ＢＧＭ フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
10	各セクション制作②	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・ＢＧＭ フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
11	各セクション制作③	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・ＢＧＭ フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
12	各セクション制作④	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・ＢＧＭ フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
13	各セクション制作⑤	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・ＢＧＭ フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
14	各セクション制作⑥	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・ＢＧＭ フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
15	総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡＢ		
必修選択	必修	（学則表記）	ブライダルプロジェクトⅡＢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる
到達目標	学んだ知識をもとに実践力を身に付ける 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る
評価基準	授業態度４０％・提出物４０％・振り返り２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡＢ・オリジナルプランニング
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	各セクション制作①	招待状、席次表、席札作成・演出・進行表・ＢＧＭ・フラワー 会場装飾・小物・ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等のコラージュを作成する
2	新郎新婦様との打合せ①	衣装合わせ・各セクション制作①の提案、ヒアリングをする
3	各セクション制作②	招待状完成・席次表、席札作成・進行表作成・司会原稿作成 ＣＤ（映像）作成・ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を作成する
4	新郎新婦様との打合せ②	衣装合わせ・招待状お渡し・試食会日程決め・各セクション制作②のご提案をする
5	各セクション制作③	全体スケジュール作成・席次表、席札完成・司会原稿完成・ＣＤ（映像）完成 ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を完成させる
6	新郎新婦様との打合せ③	メイクリハーサル・料理、ウェディングケーキ、ゲスト人数確認・各セクション制作③の確認をする
7	各種リハーサル	紙上リハーサル・口上作成・各セクション動きを確認する 新郎新婦様との挙式、披露宴リハの為のリハーサルを行う

8	新郎新婦様とのリハーサル・最終打合せ	メイクリハーサル・挙式、披露宴のリハーサル・最終打合せ・お預かり物等を確認する
9	各セクション制作④	席次表、席札人数分印刷・フラワー、会場装飾卓数分作成する 会場へ持込みするグッズを確認する
10	挙式・披露宴リハーサル	挙式・披露宴通しのリハーサルを行う
11	全体リハーサル①	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りまでのリハーサルを行う
12	全体リハーサル②	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
13	全体リハーサル③	お客様役の1年生を入れて受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
14	振り返り	本番を振り返って振り返りを記入する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡ-A		
必修選択	選択	（学則表記）	花嫁着付けⅡ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点）仮ひも（1））・和装スリップ（下着）・クリップ（5点セット）・足袋		出版社	桜花出版KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す		
到達目標	花嫁3級(6月強制受験　免許免除)　花嫁2級(12月強制受験　免許強制)		
評価基準	検定試験：40%　テスト30%　授業態度：30%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会　きもの着付け資格		
関連科目	花嫁着付Ⅰ-A・B　花嫁着付Ⅱ－B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	藤井みどり　他1名	実務経験	○
実務内容	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 1級きもの講師免許、花嫁着付け1級免許一般財団法人日本文化普及協会　教授きもの講師免許保持所有。㈱東洋きもの文化学院　学院長補佐　講師歴18年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	花嫁着付内容説明	デモンストレーション・小物の説明・準備の仕方・補整作り
2	掛下の着せ方1	補整・長襦袢・小物の片づけ方、たたみ方
3	掛下の着せ方2	掛下の着せ方(衿合わせの決め方)
4	掛下の着せ方3	掛下の着せ方(裾の引き方)
5	掛下の着せ方4	掛下に文庫結び

6	掛下の着せ方5	掛下に文庫結び　仕上げまで
7	掛下の着せ方6	掛下に文庫結び　仕上げ
8	掛下の着せ方7	掛下に文庫結び　仕上げ
9	花嫁着付3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	花嫁着付３級検定	掛下に文庫結び(35分)
11	打掛の掛け方	お絡げ、褄取り、お掻取りの仕方　検定結果通知
12	紋服	紋服の着せ方、たたみ方
13	留袖の総仕上げ1	留袖・二重太鼓の総仕上げ
14	留袖の総仕上げ2	留袖・二重太鼓の総仕上げ
15	総合学習	留袖・二重太鼓の総仕上げ　婚礼着付けのまとめ　期末テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡ-B		
必修選択	選択	（学則表記）	花嫁着付けⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点）仮ひも（1））・和装スリップ（下着）・クリップ（5点セット）・足袋		出版社	桜花出版KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す
到達目標	花嫁2級(12月強制受験　免許強制)
評価基準	検定試験：40%　テスト30%　授業態度：30%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会　きもの着付け資格
関連科目	花嫁着付Ⅰ-A・B　花嫁着付Ⅱ－A
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	引き振袖の着せ方1	「引き振袖の説明」教材・小物の準備の仕方　引き振袖の着せ方
2	引き振袖の着せ方2	引き振袖に末広立矢結び（三重紐の使い方）
3	引き振袖の着せ方3	引き振袖に末広立矢結び（羽根の取り方）
4	引き振袖の着せ方4	引き振袖に末広立矢結び（亀甲の作り方）
5	引き振袖の着せ方5	引き振袖に末広立矢結び（形づけ・仕上げ）
6	引き振袖の着せ方6	引き振袖　仕上げ1

7	引き振袖の着せ方7	引き振袖　仕上げ2
8	花嫁着付2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	花嫁着付２級検定	花嫁引き振袖に末広立矢結び（35分）
10	大振袖の着せ方	大振袖～帯結び
11	女袴の着せ方 卒業制作について	女袴の着付け・立居振る舞い
12	着付け総復習1	総復習練習1
13	着付け総復習2	総復習練習2
14	着付け総復習3	総復習練習3
15	総合学習	総まとめを行う　期末テスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡＡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルネイルⅡＡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)ＵＶランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する		
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、幅や技術の幅を広げる事ができる		
評価基準	前期…実技テスト30%　筆記テスト30%　授業態度20%　提出物20％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	公益財団法人日本ネイルスト検定試験センター　ＪＮＥＣネイリスト技能検定 ＮＰＯ法人日本ネイリスト協会　ＪＮＡジェルネイル技能検定試験		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	青塚　菜々子　他1名	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにて14年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ジェルネイル中級検定対策	オリエンテーション 中級検定説明 【筆記】　中級検定筆記対策 【実技】　中級検定説明　中級検定対策
2	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】　ジェル検定中級対策 【実技】　中級検定対策　カラーグラデーション（ジェルP88～91）
3	ジェルネイル中級検定対策	ブライダル＆トレンドアート②
4	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】　ジェル検定中級対策 【実技】　中級検定対策　フレンチ（ジェルP92～95）
5	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】　ジェル検定中級対策 【実技】　中級検定対策　フレンチ（ジェルP92～95）
6	ジェルネイル中級検定対策	【実技】　ジェルクリアスカルプチュア（テクニカルシステム　ジェル　P62～66）

7	ジェルネイル中級検定対策	【実技】　ジェルクリアスカルプチュア（テクニカルシステム　ジェル　P62～66）
8	【実技】　中級内容	【実技】中級内容でタイムトライアル（第一・第二通し）
9	【実技】　中級内容	【実技】中級内容でタイムトライアル（第一・第二通し）
10	【実技】　中級内容	【実技】中級内容でタイムトライアル（第一・第二通し）
11	【実技】テスト	中級検定の内容で実技テストを行う
12	【実技】テスト	中級検定の内容で実技テストを行う
13	ブライダル＆トレンドアート①	流行のトレンドアートについて学ぶ
14	ブライダル＆トレンドアート②	流行のトレンドアートについて学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡＢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡＢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)ＵＶランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する		
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、幅や技術の幅を広げる事ができる		
評価基準	実技テスト30%　筆記テスト30%　授業態度20%　提出物20％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	公益財団法人日本ネイルスト検定試験センター　ＪＮＥＣネイリスト技能検定 ＮＰＯ法人日本ネイリスト協会　ＪＮＡジェルネイル技能検定試験		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 【筆記】２級筆記対策 【実技】2級検定対策	オリエンテーション 教材配布(名称及び説明) 【筆記】　2級検定筆記対策 【実技】　2級検定説明　2級検定対策　（チップラップ、カラーリング）
2	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【筆記】　2級検定筆記対策 【実技】　ケア、カラーリング　2級に対応できる仕上がりを目指す
3	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【筆記】　2級検定筆記対策 【実技】　ケア、カラーリング　2級に対応できる仕上がりを目指す
4	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【実技】　２級検定対策　チップラップ～カラーリング 2級検定の後半試験内容を流れで学ぶ　カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
5	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【筆記】　2級対策 【実技】　チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート

6	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【筆記】　2級対策 【実技】　チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート
7	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【筆記】　2級対策 【実技】　チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート
8	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【実技】　2級検定対策（第二課題　タイムトライアル）
9	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【実技】　2級検定対策（第二課題　タイムトライアル）
10	実技テスト	【筆記】2級検定の内容で筆記テストを行う 【実技】2級検定の内容で実技テストを行う
11	実技テスト	【実技】2級検定の内容で実技テストを行う
12	卒業制作①	テーマに合わせた作品製作
13	卒業制作②	テーマに合わせた作品製作
14	卒業制作③	テーマに合わせた作品製作
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルエステA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	クリエーヌ化粧品（BP科/B科/BD科２年生用　エステセット）、ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	クリエーヌ	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性をつ伝える事を習得する
到達目標	基礎でもあるフェィシャルエステとボディエステができる
評価基準	筆記テスト30％　実技テスト30％　小テスト(筆記実技・課題提出含む)20％　授業態度20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般社団法人　日本エステティック協会　認定フェイシャル＆ボディエステティシャン
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	大島千夜（平田里奈・岩下扇与）
実務経験	○
実務内容	大手化粧品メーカのサロン勤務を経て独立。 現在もエステティシャンとしてサロン業務に従事。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステとは 使用方法と説明	オリエンテーション □ベッドメイク.スチームタオルづくり □化粧品配布と取扱いについて □一連の流れについて
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	□ボディエステティックとは □トリートメントの目的を学ぶ □皮膚の構造を知る □エステサロンの種類について学ぶ
3	マッサージ～① ホットタオル拭取り	マッサージ導入・デモ　下肢後面 軽擦法～強擦法・揉撚法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法

4	マッサージ～② ホットタオル拭取り	マッサージ導入・デモ　下肢後面 軽擦法～強擦法・揉撚法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法
5	マッサージ～③ ホットタオル拭取り	マッサージ導入・デモ　下肢後面 軽擦法～強擦法・揉撚法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法
6	実技テスト①	ご案内～マッサージ～ホットタオル～仕上げ
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマテラピーの利用法 小テスト	香りのイメージを学ぶ 精油のもととなる植物の芳香物質芳香浴法・沐浴法・吸入法/安全の為の注意点など
9	腰背部マッサージ① （アロマトリートメント）	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰背部マッサージ② （アロマトリートメント）	復習
11	腰背部マッサージ③ （アロマトリートメント）	復習
12	復習　通し練習①　小テスト	腰背部（アロマトリートメント）
13	復習　通し練習②　小テスト	腰背部（アロマトリートメント）
14	筆記テスト	前期で学んだ範囲の筆記テストを作成し実施
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	クリエーヌ化粧品（BP科/BC科２年生用　エステセット）、ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝えることを習得する
到達目標	基礎でもあるフェィシャルエステとボディエステができる
評価基準	筆記テスト30%　実技テスト30%　小テスト(筆記実技・課題提出含む)20%　授業態度20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般社団法人　日本エステティック協会　認定フェイシャル＆ボディエステティシャン
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員		実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション フェイシャル技術理論 皮膚学について	□オリエンテーション □フェイシャルについて「トリートメントの目的」 ・皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティング ポイントメイククレンジング /手技練習について学ぶ
3	クレンジング～ コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技練習について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ
4	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践

5	マッサージ～ふき取り～仕上げ①	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う①
6	マッサージ～ふき取り～仕上げ②	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う②
7	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ①	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ①
8	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ②	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ②
9	実技テスト	後期に学んだ範囲…フェイシャル
10	フェイシャルパック ディープクレンジング① ピーリング)	□デモンストレーションより学び実践 ・手技 ・拭き取り
11	フェイシャルパック ディープクレンジング② ピーリング)	□前回の復習・実践 ・手技　　・拭き取り □小テスト(フェイシャルパックのテスト)
12	フェイシャルカウンセリング①	□お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる □カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
13	フェイシャルカウンセリング②	□お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる □カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
14	筆記テスト	筆記テスト…後期で学んだ範囲
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコンスキル		
必修選択	選択	（学則表記）	パソコンスキル		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター　Word＆Excel　2019		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる
評価基準	検定・試験６０％、課題提出40％
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者、成績評価が２以上の者
関連資格	パソコン技能検定３級（任意）
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	室伏　奎甫　他1名	実務経験	○
実務内容	ゲストハウスにて４年間、WEBでの集客業務・企画書の作成・管理にてパソコン業務経験有。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OCの使用方法、リテラシーについての理解
2	Word入門①	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体についてについて
6	Word応用①	表の作成・編集について
7	Word応用②	表の作成・編集について練習
8	文書作成①	表入りビジネス文書作成練習

9	文書作成②	表入りビジネス文書作成練習
10	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について
11	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算について
12	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更について
13	PC用語	学科問題を中心にPC用語を学ぶ
14	前期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word文書作成)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ビジネスメール		
必修選択	選択	（学則表記）	ビジネスメール		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	ビジネスを強力にバックアップする“メール・テクニック” 改訂新版ビジネスメールの書き方・送り方		出版社	株式会社あさ出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダル業界で必要な基本的なビジネスメールの送り方を学ぶ。
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを習得し、 スムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。
評価基準	テスト60％、課題提出20％、授業態度・参加の積極性20％
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者、成績評価が２以上の者
関連資格	ビジネスメール実務検定試験３級
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・メール基本設定	ビジネスメールを学ぶ意義・メールアドレスの登録、設定について
2	ビジネスメール導入	メールの機能を学ぶ、ビジネスメール基本の構成について
3	ビジネスメール実践①	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
4	ビジネスメール実践②	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成
5	ビジネスメール作成応用①	例題に基づきビジネスメールを作成、送信
6	ビジネスメール作成応用②	例題に基づきビジネスメールを作成、送信
7	ビジネスメール作成応用③	例題に基づきビジネスメールを作成、送信
8	ビジネスメール作成①	オリジナルビジネスメール作成、送信

9	ビジネスメール作成②	オリジナルビジネスメール作成、送信
10	メールトラブル	ビジネスメールトラブルの解決法について
11	ビジネスメール作成③	指定のメールを作成、送信
12	ビジネスメール作成④	指定のメールを作成、送信
13	ビジネスメール応用	ビジネスメール実務検定の内容、効率的なメール作成のテクニックについて
14	まとめ	ビジネスメール確認テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン・ドライヤー		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	１年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける		
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる		
評価基準	実技テスト30%　作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	須賀　千尋	実務経験	○
実務内容	都内ヘアメイク事務所所属、撮影、LIVE、ブライダルヘアメイク等 20年。まつ毛＆眉毛サロンの経営も行う。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ウェディングヘアについて学ぶ 流行のヘヘアスタイルを学ぶ	『ウエディングヘア』について学ぶ □顔型をカバーするコツについて □前髪ありとなしでの見え方 □ヘアアクセの種類と見え方 □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ
2	和装スタイル　振袖①	和装スタイルについて学ぶ （面ループ）ウィッグ
3	和装スタイル　振袖②	和装スタイルについて学ぶ （面ループ）ウィッグ
4	和装スタイル　振袖③ 小テスト	和装スタイルについて学ぶ （面ループ）ウィッグ
5	洋装スタイル　白ドレス①	洋装スタイル（白ドレス）を学ぶ （ハーフアップ）ウィッグ

6	洋装スタイル　白ドレス②	洋装スタイル（白ドレス）を学ぶ （ハーフアップ）ウィッグ
7	洋装スタイル　白ドレス③ 小テスト	洋装スタイル（白ドレス）を学ぶ （ハーフアップ）ウィッグ
8	洋装スタイル　カラードレス①	洋装スタイル（カラードレス）を学ぶ （サイドダウン）ウィッグ
9	洋装スタイル　カラードレス②	洋装スタイル（カラードレス）を学ぶ （サイドダウン）ウィッグ
10	洋装スタイル　カラードレス③ 小テスト	洋装スタイル（カラードレス）を学ぶ （サイドダウン）ウィッグ
11	和装スタイル　留袖・訪問着①	留袖・訪問着スタイルを学び実践する （シニヨン）ウィッグ
12	和装スタイル　留袖・訪問着②	留袖・訪問着スタイルを学び実践する （シニヨン）ウィッグ
13	和装スタイル　留袖・訪問着③ 小テスト・ブロー理論①	和装スタイル小テスト・ブロー理論①
14	ブロー実践②	ブロー実践②
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅣ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルヘアアレンジⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	１年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる
評価基準	実技テスト30%　作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20%　授業態度20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング	オリエンテーション 教員紹介、後期の流れ、後期のゴール、授業のルール、成績について □お客様相手で接客をイメージする□相手の好みを引き出すトーク □相手に骨格・頭の形などからスタイルの提案□髪飾りの提案・つけ方の見え方の違い □メイクリハーサルのイメージでカウンセリングしスタイル提案
2	新日本髪について①	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ『和装ウエディングヘア』について学ぶ 日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ □顔型をカバーするコツを学ぶ □前髪ありとなしでの見え方を学ぶ □ヘアアクセの種類と見え方を学ぶ □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ

3	新日本髪について②	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ『和装ウエディングヘア』について学ぶ 日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ □顔型をカバーするコツを学ぶ □前髪ありとなしでの見え方を学ぶ □ヘアアクセの種類と見え方を学ぶ □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ
4	新日本髪について③	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ『和装ウエディングヘア』について学ぶ 日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ □顔型をカバーするコツを学ぶ □前髪ありとなしでの見え方を学ぶ □ヘアアクセの種類と見え方を学ぶ □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ
5	新日本髪について④ 小テスト	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ『和装ウエディングヘア』について学ぶ 日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ □顔型をカバーするコツを学ぶ □前髪ありとなしでの見え方を学ぶ □ヘアアクセの種類と見え方を学ぶ □同じ髪型に対してヘアアクセの位置やモノにより見え方を学ぶ □同じ髪型で前髪ありとなしの違いを学ぶ
6	フリースタイル①	流行のヘアアレンジ・トレンドを学ぶ
7	フリースタイル②	流行のヘアアレンジ・トレンドを学ぶ
8	チェンジスタイル①	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
9	チェンジスタイル②	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
10	チェンジスタイル③ 小テスト	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
11	チェンジスタイル④	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
12	チェンジスタイル⑤ 小テスト	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
13	作品創作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 ２年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、 自由にヘアアレンジを創作する
14	作品創作② 作品採点	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 ２年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、 自由にヘアアレンジを創作する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク＆フォトA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク＆フォトA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 ブライダルメイクアップテキスト		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける		
到達目標	ブライダルメイクアップ検定取得 フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる		
評価基準	作品制作30%　実技テスト30%　小テスト(課題提出含む)20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	日本トータルメイクアップ協会　ブライダルメイクアップ検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	青葉　有実子 他2名	実務経験	○
実務内容	ホテル、ゲストハウス、レストラン等ブライダルヘアメイク、アテンド業務他各種撮影ヘアメイク業務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認 ブライダル検定対策	オリエンテーション □ブライダル検定までのスケジュール確認(復習) □テーマ：ラグジュアリー　イメージを理解する ⇒デモストレーション後、相モデルで実践
2	ブライダル検定対策	□テーマ：クラシカル　イメージを理解する ⇒デモストレーション後、相モデルで実践
3	検定対策①	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる
4	検定対策②	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる

5	検定対策③	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる
6	検定対策④	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる
7	検定対策⑤	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる
8	検定対策⑥	■ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ □デッサンシート書きかた □プレゼンの仕方導入 □モデル確保について □8パターンを行う □時間内に仕上げる
9	白ドレスに合わせた ヘアメイク もしくはKPフォトコン	ヘア＆メイク通しで仕上げる メイク→可愛いｏｒ綺麗　ヘア→アップスタイル □ヘアーメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる □タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
10	白ドレスに合わせた ヘアメイク もしくはKPフォトコン	ヘア＆メイク通しで仕上げる メイク→可愛いｏｒ綺麗　ヘア→アップスタイル □ヘアーメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる □タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
11	白ドレスに合わせた ヘアメイク もしくはKPフォトコン	似合わせヘア＆メイク　目元→ニュアンス ソフトペールトーン、暖色系可愛いｏｒ綺麗　ニュートラルな無彩色 □ヘアーメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる □タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
12	白ドレスに合わせた ヘアメイク もしくはKPフォトコン	似合わせヘア＆メイク　目元→ニュアンス ソフトペールトーン、暖色系可愛いｏｒ綺麗　ニュートラルな無彩色 □ヘアーメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる □タイムワークを意識 □手順、流れを意識し理解できている
13	撮影・実技テスト （一人目）	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
14	撮影・実技テスト （二人目）	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク＆フォトB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク＆フォトB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 ブライダルメイクアップテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける		
到達目標	フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる		
評価基準	作品制作30%　実技テスト30%　小テスト(課題提出含む)20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング術を学ぶ	オリエンテーション…後期の授業内容説明 カウンセリングの必要性を説明 カウンセリングの流れ、内容、話術を学ぶ カウンセリングシートの記入の仕方を学ぶ
2	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングレクチャー後、ペアでロールプレイング
3	コントゥアリングメイク	コントゥアリングメイクについて説明 コントゥアリングメイクの実践
4	ドレスに合わせた イメージ撮影準備	カラードレスで考える □モデルの雰囲気やドレスの形、色に合わせたヘアメイクの提案 ・撮影場所、ポージングも考える ・骨格、発色、アイテム、表現力、色々な技法、アイテムを使用し表現する事により 似合わせ力、表現力、センスを吸収しメイクのバリエーションが増える
5	ブライダルシーンに 合わせた撮影準備	チャペルや、バンケット、その他撮影アングルなど考えてトータルバランスが良くなるように 撮影を考える

6	ブライダルシーンに 合わせた撮影（実技テスト）	ブライダルシーンも踏まえた作品として撮影する
7	卒業制作について 卒業制作準備①	卒業制作に向けて準備を行う ※撮影スケジュールを確認 ※小物アイテム作成、ポージング、撮影アングル等イメージを細かく考える ※撮影に向けてヘアメイク練習、モデルのポージング確認、ヘアメイクの写り具合など実際撮影し練習する ※各校判断・・・撮影場所、撮影状況、写真撮影枚数、ポージング バストアップ・全身等アングルによる枚数等
8	卒業制作準備②	
9	卒業制作準備③	
10	卒業制作撮影①	
11	卒業制作撮影②	
12	作品選び・振り返り	卒業制作の作品選び・振り返りを行う
13	卒業式ヘアメイク①	卒業式ヘアメイクについて説明・和装用メイクの説明 卒業式ヘアメイクの実践
14	卒業式ヘアメイク②	卒業式ヘアメイクの実践
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクA		
必修選択	選択	（学則表記）	洋装・和装メイクA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式（後期） ボディージュエリー道具、和装カツラ（学校準備）		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら 和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる
評価基準	前期…実技テスト40%　小テスト(実技筆記・課題提出含む）30%　授業態度30%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	秋山　美咲
実務経験	○
実務内容	2005年よりフリーランスヘアメイクとして、舞台、撮影、ブライダルなど様々な現場で活動中。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認	オリエンテーション 洋装メイク・和装メイクについて説明　水化粧導入
2	和装花嫁のメイクのテクニック①	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニック②	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニック③	かつらの下地のやり方 水化粧のやり方を学ぶ、洋装ファンデーションでの和装メイク

5	和装花嫁のメイクのテクニック④	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
6	シーンに合わせた洋装メイク①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ
7	シーンに合わせた洋装メイク②	
8	花嫁のカウンセリングシート作成	カウンセリングシートの作成 カウンセリングシートをもとに時間を意識して希望のメイクを施術する
9	シーンに合わせた和装メイクから 洋装メイクへチェンジ①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
10	シーンに合わせた洋装メイクから 和装メイクへチェンジ②	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 洋装メイクから和装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
11	実技テスト（1人目） 筆記テスト	課題：提示したウェディングシーンにあったメイク テーマに合わせてメイクチェンジ
12	実技テスト（2人目）	
13	ボディメイクのやり方 ボディジュエリー	ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践 新婦のボディジュエリーを学ぶ
14	ボディジュエリーのやり方	新婦のボディジュエリーを学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクB		
必修選択	選択	（学則表記）	洋装・和装メイクB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘアー道具一式（後期） ボディージュエリー道具、和装カツラ（学校準備）		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら 和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる
評価基準	後期…卒業制作30％　実技テスト30％　小テスト（実技筆記・課題提出含む）20％　授業態度20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル対象別マルチメイク	オリエンテーション 性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ボディートラブルの隠し方、列席者メイク等
2	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック①	色打掛に合わせたヘアメイクのテクニックについて学ぶ
3	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック②	相モデルで実践 ドレスや着物を指定した上で、カウンセリングを行う カウンセリングシート作成 挙式、お色直し、披露宴までの流れに合わせたテクニックを学び実践

4	実技テスト	実技テスト
5	新郎ヘアメイク①	新郎のヘアセットについていくつかパターンを学び 相モデルでメイクの練習をする
6	新郎ヘアメイク②	新郎のヘアセットについていくつかパターンを学び 相モデルでメイクの練習をする
7	卒業制作準備①	シーンを決め、相モデルにてカウンセリング カウンセリングをもとにデッサンシートの作成 これまでやってきた授業をいかして和装・洋装のメイクとメイクチェンジ
8	卒業制作準備②	シーンを決め、相モデルにてカウンセリング カウンセリングをもとにデッサンシートの作成 これまでやってきた授業をいかして和装・洋装のメイクとメイクチェンジ
9	卒業制作準備③	シーンを決め、相モデルにてカウンセリング カウンセリングをもとにデッサンシートの作成 これまでやってきた授業をいかして和装・洋装のメイクとメイクチェンジ
10	卒業制作準備④	シーンを決め、相モデルにてカウンセリング カウンセリングをもとにデッサンシートの作成 これまでやってきた授業をいかして和装・洋装のメイクとメイクチェンジ
11	卒業制作撮影①	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影 メイクチェンジを行い撮影
12	卒業制作撮影②	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影 メイクチェンジを行い撮影
13	卒業式の袴に合わせたヘアメイク①	カウンセリングを行いデザイン画を描く ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
14	卒業式の袴に合わせたヘアメイク②	カウンセリングを行いデザイン画を描く ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会（ABC協会）日本オフィス	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する		
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となれるよう、ドレスデザインＡＢで身に付けた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身に付ける		
評価基準	テスト５０％・実技(ロールプレイング)３０％・授業態度(提出物含む)２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレススタイリングB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	井上　明香	実務経験	○
実務内容	ドレススタイリストとして14年勤務し、店長・エリアマネージャーとして人材育成・指導の経験有り。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る,伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性と台帳作成　納品・請求書明細・受領書・合計請求書・領収書
2	衣装知識①	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラージュする
3	衣装知識②	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラージュする
4	プレゼンテーション	２～3週目で調べたドレスショップをコラージュを用いてプレゼンテーション
5	ディスプレイ技術①	ディスプレイのデザイン・グループワーク　検討
6	ディスプレイ技術②	ディスプレイのデザイン・グループワーク　実践
7	ディスプレイ技術③	ディスプレイのデザイン・グループワーク　プレゼン

8	採寸 補正技術①	採寸方法を学びブライダルインナーについて知る 補正技術の基礎を学ぶ
9	補正技術②	補正技術の基礎を学ぶ 新婦の洋装(ドレス)補正技術
10	補正技術③	タキシード採寸、裾上げ
11	接客技術①	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
12	接客技術②	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
13	接客技術③	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践
14	前期試験①	筆記試験
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングＢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ドレススタイリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 （ABC協会）日本オフィス	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となれるよう、ドレスデザインＡＢで身に付けた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身に付ける
評価基準	テスト５０％・実技(ロールプレイング)３０％・授業態度(提出物含む)２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレススタイリングＡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	業務知識	メンテナンスの流れについて
2	衣装選択①	妊婦の花嫁様の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
3	衣装選択②	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
4	衣装選択③	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
5	実技試験①	３～４週目の内容のプレゼンテーション（1人３分程度、人数によって調整）
6	新郎衣装・列席者衣装	新郎衣装案内・列席者衣装案内

7	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート （ヘアアレンジ含む）
8	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート （ヘアアレンジ含む）
9	トータルコーディネート①	テーマに対するスタイリングを実践する
10	トータルコーディネート②	テーマに対するスタイリングを実践する
11	トータルコーディネート③	テーマに対するスタイリングを実践する
12	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング （動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う）
13	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング （動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う）
14	後期試験①	試験を実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングＡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ドレスカウンセリングＡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	15
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る
評価基準	ペーパーテスト４０％　実技試験４０％　授業態度(提出物含む)２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレスカウンセリングＢ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	大河内　彩香
実務経験	○
実務内容	約10年間ドレスショップに在籍。全4店舗にて接客や衣装メンテナンスなどの店舗業務の他 国内外の衣装買い付け、ドレスショーの運営、店舗責任者等に携わる。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	接客業において必要な事を知る カウンセリングとはなにか、カウンセリングの意味を知る 身だしなみについて
2	表情練習①	笑顔を中心に接客においての表情練習を行う
3	表情練習②	撮影した動画を見て客観的に自分の表情を分析する
4	話し方・発声練習	お客様に好感を持っていただく為の話し方・発声方法を知る
5	お客様心理を学ぶ①	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客

6	お客様心理を学ぶ②	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
7	敬語での会話練習①	敬語のみでお題に対してスピーチを行う
8	敬語での会話練習②	敬語のみでお題に対して会話を行う練習を行う
9	お客様心理を学ぶ③	好感度を上げる接客方法 接客を好きになる
10	花嫁クラスタ別対応方法①	花嫁クラスタ別対応方法を考える
11	花嫁クラスタ別対応方法②	花嫁クラスタ別対応方法を考える
12	花嫁クラスタ別対応方法③	花嫁クラスタ別対応方法を考える
13	前期試験	筆記試験
14	前期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	15
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る
評価基準	ペーパーテスト４０％　実技試験４０％　授業態度(提出物含む)２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレスカウンセリングA、ドレスコーディネートAB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う ７つの接客応対用語・ 気配りワード・初対面の人との話題づくり
2	カウンセリング応用①	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
3	カウンセリング応用②	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
4	カウンセリング応用③	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
5	カウンセリング実践①	２～４週で学んだ事を実践しながら行う
6	カウンセリング実践②	２～４週で学んだ事を実践しながら行う

7	花嫁クラスタ別カウンセリング練習①	前期に学んだ花嫁クラスタ別のカウンセリングを実践していく
8	花嫁クラスタ別カウンセリング練習②	前期に学んだ花嫁クラスタ別のカウンセリングを実践していく
9	カウンセリング実践③	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
10	カウンセリング実践④	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
11	カウンセリング実践⑤	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
12	カウンセリング実践⑥	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
13	後期試験	筆記試験
14	後期試験	実技試験
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートＡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ドレスコーディネートＡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 （ABC協会）日本オフィス	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートが出来る また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける
評価基準	テスト５０％・実技(ロールプレイング)３０％・授業態度(提出物含む)２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレスコーディネートB、ドレスカウンセリングAB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	大河内　彩香
実務経験	○
実務内容	約10年間ドレスショップに在籍。全4店舗にて接客や衣装メンテナンスなどの店舗業務の他 国内外の衣装買い付け、ドレスショーの運営、店舗責任者等に携わる。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る,伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性と台帳作成 納品・請求書明細・受領書・合計請求書
2	衣装知識	自分の就職希望先、または１番好きなドレスショップやブランドを調べコラージュする
3	衣装知識	違いを把握するため自分の就職希望先の競合するショップやブランド、または２番目に好きなショップやブランドを調べコラージュする
4	プレゼンテーション	２～3週目で調べたドレスショップ・ブランドをコラージュを用いてプレゼンテーション
5	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク　検討
6	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク　実践

7	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク　プレゼン
8	受付対応	電話受付・来店受付対応方法
9	衣装選択	妊婦の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
10	衣装選択	アドバイス方法をもとにお題を出したものに対しドレスを選び プレゼン発表用に内容をまとめる
11	実技試験①	9～10週目の内容のプレゼンテーション（1人３分程度、人数によって調整）
12	フィッティング ロールプレイング	新郎衣装案内・列席衣装案内
13	実技試験②	受付対応のロールプレイングテスト
14	前期試験	試験の実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 （ABC協会）日本オフィス	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装(和装)のトータルコーディネートが出来る。また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける
評価基準	テスト５０％・実技(ロールプレイング)３０％・授業態度(提出物含む)２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスカウンセリングAB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員		実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の学習内容を復習する
2	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート （ヘアアレンジ込）
3	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート （ヘアアレンジ込）
4	トータルコーディネート①	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
5	トータルコーディネート②	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
6	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート①	ブライダルプロジェクトと連動

7	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート②	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート③	ブライダルプロジェクトと連動
9	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート④	ブライダルプロジェクトと連動
10	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング①	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング （動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う）
11	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング②	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング （動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う）
12	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング③	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング （動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う） ※ペアを変更する
13	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング④	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング （動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う） ※ペアを変更する
14	後期試験	試験の実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング＆メンテナンスⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ドレスソーイング＆メンテナンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会（ABC協会）日本オフィス	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し出来る。 そしてミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレス制作において、自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を創る事が出来る。
評価基準	制作物５０％・テスト３０％・授業態度２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレスコーディネートＡＢ、ブライダルプロジェクトⅡＡＢ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	大河内　彩香
実務経験	○
実務内容	約10年間ドレスショップに在籍。全4店舗にて接客や衣装メンテナンスなどの店舗業務の他 国内外の衣装買い付け、ドレスショーの運営、店舗責任者等に携わる。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	衣装点検	学校の衣装を点検する/洗濯表示について
2	メンテナンス業務①	1着の衣装をメンテナンス
3	メンテナンス業務②	1着の衣装をメンテナンス
4	メンテナンス業務③	1着の衣装をメンテナンス
5	メンテナンス業務④	1着の衣装をメンテナンス
6	メンテナンス業務⑤	衣装・小物のメンテナンス
7	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作①	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
8	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作②	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う

9	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作③	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
10	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作④	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
11	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑤	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
12	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑥	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
13	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑦	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
14	前期試験	試験の実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング＆メンテナンスⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ドレスソーイング＆メンテナンスⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会（ABC協会）日本オフィス	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ、Ⅱで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し出来る。 そしてリメイクドレス作成など卒業制作においては自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を完成する事が出来る。
評価基準	制作物５０％・テスト３０％・授業態度２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ドレスソーイング＆メンテナンスⅡ、ドレスコーディネートＡＢ、ブライダルプロジェクトⅡＡＢ
備考	
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の学習内容を復習する
2	ブライダルコレクション準備①	ブライダルプロジェクトと連動
3	ブライダルコレクション準備②	ブライダルプロジェクトと連動
4	ブライダルコレクション準備③	ブライダルプロジェクトと連動
5	ブライダルコレクション準備④	ブライダルプロジェクトと連動
6	ブライダルコレクション準備⑤	ブライダルプロジェクトと連動

7	ブライダルコレクション準備⑥	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクション準備⑦	ブライダルプロジェクトと連動
9	卒業制作①	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
10	卒業制作②	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
11	卒業制作③	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
12	卒業制作④	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
13	卒業制作⑤	卒業制作としてリメイクドレスや作品創りを行う
14	後期試験	試験の実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	1	30
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ブライダルメイクテキスト メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	１年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジを教化しレパートリーを習得する		
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる		
評価基準	実技テスト30%　作品採点30%　小テスト（筆記実技・課題提出含む）20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	森　朱沙美	実務経験	○
実務内容	ブライダルメイク会社にて勤務後、フリーランスヘアメイクとしてブライダルをはじめイベントなどで活動。 海外での勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアイロンスタイル①	オリエンテーション ヘアスタイルとして巻きの構成とスタイリングを考え実践する
2	ヘアアイロンスタイル②	ヘアアイロンを使い、スタイリングを行う
3	ハーフアップ①	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
4	ハーフアップ②（人頭）	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
5	ハーフアップ　小テスト	ホットカーラーからヘアセットまでの時間を計る
6	面出しシニヨン①	面を綺麗に出すシニヨンの作り方
7	面出しシニヨン②	面を綺麗に出すシニヨンの作り方

8	シニヨンアレンジ①	シニヨンをベースにアレンジする
9	シニヨンアレンジ②	シニヨンをベースにアレンジする
10	シニヨン 実技テスト	ホットカーラーからヘアセットを時間を計る
11	洋装スタイル①	小テスト(作品採点)有
12	洋装スタイル②	小テスト(作品採点)有
13	和装スタイル①	小テスト(作品採点)有
14	和装スタイル②	小テスト(作品採点)有
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルヘアメイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	**1**	**30**
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ブライダルメイクテキスト メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	１年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジを教化し多くのレパートリーを習得する
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる
評価基準	実技テスト30%　作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20%　授業計画20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ヘアアレンジカウンセリング①	オリエンテーション 相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
2	ヘアアレンジカウンセリング②	相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
3	七五三のヘアアレンジ	オリエンテーション 子供用の日本髪「桃割れ」を作る
4	新日本髪①	新日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ
5	新日本髪②	新日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ
6	新日本髪③ 実技テスト	新日本髪（ウィッグ）

7	洋装スタイル①	相モデルで行う　※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様 しっかりとカウンセリングを行って、施術をする
8	洋装スタイル②	相モデルで行う　※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様 しっかりとカウンセリングを行って、施術をする
9	和装スタイル①	相モデルで行う　※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様 しっかりとカウンセリングを行って、施術をする
10	和装スタイル②	相モデルで行う　※チェックテストあり ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できる様 しっかりとカウンセリングを行って、施術をする
11	フリースタイル①	和装スタイル小テスト(採点あり) 基本テクニックを駆使し和装用ヘアスタイルを作り上げる～カウンセリングから提案までを含む～
12	フリースタイル②	和装スタイル小テスト(採点あり) 基本テクニックを駆使し和装用ヘアスタイルを作り上げる～カウンセリングから提案までを含む～
13	作品創作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 ２年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、 自由にヘアアレンジを創作する
14	作品創作② 作品採点	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 ２年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、 自由にヘアアレンジを創作する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける		
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる		
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考			
担当教員	青葉　有実子	実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	
担当教員	実務経験
実務内容	